



ちひろ,



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

## ちひろ 人と作品

いわさきちひろは、子どもを生涯のテーマとして描き続けた画家でした。モデルなしで10ヵ月と1歳のあかちゃんを描き分け、その観察力とデッサン力を駆使して、子どものあらゆる姿を描き出しています。ちひろの作品は、母親として子育てをしながら、子どものスケッチを積み重ねるなかで生まれました。日本の伝統的な水墨画の技法にも通じる、にじみやぼかしを生かした独特な水彩画には、若き日に習熟した藤原行成流の書の影響も見られます。



立てひざの少年 1970年 / チューリップとあかちゃん 1971年



『戦火のなかの子どもたち』(岩崎書店)より 1972年

青春時代に戦争を体験したちひろは、「世界中のこども みんなに 平和と しあわせを」ということばを残しています。ちひろが描いた子どもや花は、いまもいのちの輝き、平和の大切さを語り続けています。

### いわさきちひろ (1918~1974)

福井県武生市(現・越前市)生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。1946年日本共産党に入党。1949年、紙芝居『お母さんの話』を出版、翌年文部大臣賞受賞。1950年松本善明と結婚、翌年長男猛を出生。1952年、下石神井(東京・練馬)に自宅兼アトリエを建てる。1956年小学館児童文化賞、1961年産経児童出版文化賞、1973年『ことりのくるひ』(至光社)でポロニーヤ国際児童図書展グラフィック賞等を受賞。1974年肝ガンのため死去。享年55歳。現存する作品は9400点を超える。その他の代表作に『おふろでちやぶちやぶ』(童心社)、『あめのひのおるすばん』(至光社)、『戦火のなかの子どもたち』(岩崎書店)などがある。



緑の風のなかで 1973年

## ちひろ美術館コレクション — 世界の絵本画家に出逢う —

ちひろ美術館は、世界最初の絵本専門美術館として1977年に開館以来、すぐれた子どもの本のイラストレーションを貴重な文化財のひとつとして位置づけ、第二次世界大戦後の絵本画家の作品を中心に、原画と資料の収集・保存・研究・公開に努めてきました。現在その数は、世界33の国と地域の203名の画家による約17300点に及びます(2012年12月現在、いわさきちひろを除く)。安曇野ちひろ美術館では、年に4回、作品を入れ替えながら、世界の絵本画家たちの作品を展示しています。



エリック・カール(アメリカ)  
『はらぺこあおむし』のイメージ  
1999年



瀬川康男(日本)  
『いないいないばあ』(童心社)より  
1967年



# ちひろ美術館・東京

ちひろ美術館・東京は、ちひろが最後の22年間を過ごし、数々の作品を生み出した自宅兼アトリエ跡に、1977年に建てられました。年4回、テーマを変えてちひろの作品を紹介するほか、世界の絵本画家の作品展や、さまざまな企画展も開催しています。絵本カフェ、ミュージアムショップ、こどものへや、図書室などのほか、ちひろの愛した草花が咲く「ちひろの庭」、画机や本棚、小物まで部屋ごと復元した「ちひろのアトリエ」などもあります。人間ちひろに出逢える空間です。

(設計 内藤廣)



# 安曇野ちひろ美術館

安曇野ちひろ美術館は、1997年、ちひろ美術館の開館20周年を記念して建てられました。両親の出身地・信州は、ちひろにとって、幼いころから親しんだ心のふるさとでした。館内には5つの展示室があり、ちひろや世界の絵本画家の作品、絵本に関する歴史資料を展示しています。そのほか、絵本の部屋、絵本カフェ、ミュージアムショップなどもあります。周囲には北アルプスを望む36500㎡の安曇野ちひろ公園(松川村営)が広がり、四季折々の花々を楽しみながら、1日ゆっくりと過ごすことができます。(設計 内藤廣)



モーリス・センダック(アメリカ)  
『かいじゅうたちのいるところ』のイメージ  
1988年



赤羽末吉(日本)  
『スーホの白い馬』(福音館書店)より  
1967年



ヌーレディン・ザリケルク(イラン)  
『アルファベット』より  
1986年



クラウディア・レニャッツィ(アルゼンチン)  
『わたしの家』より  
2001年



財団法人いわさきちひろ記念事業団  
支援会員制度のご案内

支援会員制度は、広く皆様にご支援をお願いし、ちひろ美術館の公益目的事業をさらに推進するために設けられた制度です。

- 【支援会費】1口3000円(1口以上) 【期間】入会日より1年間(翌年の同月末日まで)
  - 【ご寄付いただいた方々へ】
  - ・展覧会のご案内や解説を掲載した「ちひろ美術館だより」をお届けします。
  - ・各館にて、1年に一度、活動報告を行います。
  - ・2口以上ご寄付いただいた方に、両館共通の入館パスを差し上げます。
- お申し込み、お問い合わせはちひろ美術館・東京まで●

# ちひろ美術館・東京

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2  
 テレホンガイド:03-3995-3001 TEL.03-3995-0612 FAX 03-3995-0680

- 開館時間 = 10:00~17:00(入館は閉館の30分前まで) ※GW・8/10~20は18:00まで
- 休館日 = 月曜日(祝休日は開館、翌平日休館) ※GW・8/10~20は無休 ○年末年始 = 2013年12/28~2014年1/1(1/2から開館) ○冬期休館 = 2/1~2月末日 ○展示替えのための臨時休館 = 2013年5/21・8/6・10/29
- 入館料 = 大人800円/高校生以下無料/団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引/障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料/視覚障害のある方は無料/年間パスポート2500円
- 交通 = 西武新宿線上井草駅下車徒歩7分/JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分/西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分 ●駐車場あり(乗用車3台・身障者用1台)



2013年展示予定	
3/1(金)~5/19(日)	ちひろの庭/〈企画展〉日中国交正常化40周年記念 中国の絵本画家展
5/22(水)~8/4(日)	一平和で、豊かで、美しく、可愛いものがほんとうに好きでーいわさきちひろ展 〈企画展〉手から手へ展ー絵本作家から子どもたちへ 3.11後のメッセージー
8/7(水)~10/27(日)	ちひろ・絵本づくりの現場/〈企画展〉ずっと長さんとともにー長新太が描いた子どもの本ー
10/30(水)~2014.1/31(金)	ちひろと初山滋ー永遠のコドモー / 初山滋の木版画

# 安曇野ちひろ美術館

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24  
 テレホンガイド:0261-62-0777 TEL.0261-62-0772 FAX0261-62-0774

- 開館時間 = 9:00~17:00 ※GW・8月は18:00まで
- 休館日 = 第2・4水曜日 ※GW・8月は無休 ○冬期休館 = 12/1~2月末日 ○展示替えのための臨時休館 = 2013年5/9・7/11・9/18・9/19
- 入館料 = 大人800円/高校生以下無料/団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引/障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料/視覚障害のある方は無料/年間パスポート2500円
- 交通 = 電車の場合…JR大糸線「信濃松川」駅より約2.5km(タクシー5分・レンタサイクル15分・徒歩30分)/車の場合…長野自動車道「安曇野」I.C.より約30分(松本市・白馬村より約50分/長野市より約80分)



2013年展示予定	
3/1(金)~5/7(火)	ちひろの軌跡/〈企画展〉手から手へ展ー絵本作家から子どもたちへ 3.11後のメッセージー ちひろ美術館コレクション 読みつがれる絵本 語りつがれる物語
5/10(金)~7/9(火)	ちひろの子ども歳時記/ちひろ美術館コレクション 絵本のつくり方
7/12(金)~9/17(火)	ちひろになれる! 7つの法則ー技法徹底解剖ー 〈企画展〉色の音 紙の詩 クヴィエタ・パツオウスカー展 ちひろ美術館コレクション 貼る・塗る・摺るー絵本画家たちの技法と画材ー
9/20(金)~11/30(土)	ちひろのアトリエー東京・黒姫ー/ちひろ美術館コレクション 画家たちのアトリエ

- 2013年他館での展覧会 〈いわさきちひろ展〉北海道立近代美術館(北海道) 4/27~6/2 岩手県立美術館(岩手) 7/25~8/25
- ドキュメンタリー映画「いわさきちひろ~27歳の旅立ち~」の自主上映が、2013年2月1日よりはじまります。 <http://chihiro-eiga.jp/joc.html>

ちひろ美術館HP <http://www.chihiro.jp/>

表面図版: いわさきちひろ アヒルとクマとあかちゃん 1971年 撮影: 橋本裕貴/中川敦玲/橋本麻利沙/講談社写真部・林桂多

このチラシをご持参の方は、2名までちひろ美術館(東京・安曇野)入館料が100円引きとなります。